行政評価外部評価委員会を設置

市では、平成17年度から市の内部委員会において事務事業評価を実施しています。更に平成24年度から、信頼性・客観性を高めるとともに、効率的で質の高い行政を推進するために外部評価を導入しました。

外部評価とは、市民公募者・学識経験者などによる委員で委員会を構成し、行政の内部で実施した評価の妥当性を検証するとともに、行政評価システムそのものについても提言などを行うものです。

第1回清瀬市行政評価外部評価委員会（6月30日開催）では、委員会の運営や今年度外部評価を行う事務事業を選定しました。

◆傍聴のご案内

傍聴をご希望の方は会議当日、直接会場へお越しください。会場に備え付けの受付票に住所・氏名をご記入いただきます。

◆今後の会議スケジュール

―第2・3回清瀬市行政評価外部評価委員会

日時　8月2日(土)午前9時～（開場は午前8時45分）

場所　男女共同参画センター

※直接会場へ。傍聴の際のルールや、第4回以降のスケジュールなど、詳しくは市ホームページをご覧ください。

問合せ　企画課企画調整担当☎497・1802

下宿市民プールオープン

25メートルプール、スライダープール、幼児用プールの3つのプールです。太陽光を利用した温水シャワーシステムもあります。

対象　日常的にオムツを使用していない幼児～おとな

開設日時　7月19日(土)～8月31日(日)午前9時30分～午後4時15分（日曜日、祝日は午後4時45分まで。8月23日(土)は、市主催の水泳記録会のため午後1時30分～午後4時15分まで）

費用　おとな300円、小・中学生100円（市外在住の方は、おとな450円、小・中学生150円）、幼児無料（保護者同伴・水着着用）

※コインロッカーは1回10円。

問合せ　下宿市民プール☎493・8668（開設期間外の問合せは、下宿地域市民センター☎493・4033）

3本の木とともに

※今号の市長コラム「3本の木とともに」は、6月15日号の続きです。

続いて「ひ」は、奈良・平安時代の医療介護福祉施設の「悲田処」です。清瀬の野塩地区に833年に作られていた可能性が非常に高くなりました。かつての発掘調査で大きな柱の跡と棟瓦（むねがわら）が出土し、「続日本後記」にある悲田処ではないかと確信されました。今また近くで発掘調査がされており、明らかに平安時代の大きな集落の跡が確認されています。

日本を、世界を結核から守ってきたまち、清瀬にふさわしい医療歴史の原点だと思います。更に、悲田院、悲田処の創設者は聖徳太子とも光明皇后ともいわれていますが、清瀬には聖徳太子の別称をいただく「上宮」病院があります。清瀬の歴史は至る所で符号が合うのです。

さて、「ふ」です。「ふせぎ」「複十字」「フロジャク神父」のふです。ふせぎだけを解説します。江戸時代後期に清瀬の下宿で疫病がはやり、村人が観音様に「助けてください」と祈願した時、大蛇が現れて「私が病魔から村人を守ります」と誓ったとされ、爾来（じらい）、村の入り口の双木に藁（わら）で編んだ16メートルの大蛇を掲げ「ふせぎ」と名付け、今に続いています。旧約聖書、ギリシャ神話にも登場する医学の神様を象徴する蛇と見事に符合します。

そして昭和6年、その下宿に住んでいた小島村長が猛反対した清瀬の村人たちを説得し、東京府立清瀬病院が開設されました。そして現在、医学医療のシンボルである蛇と杖（つえ）が結核研究所の玄関にWHOのマークとして飾られています。だから、「へ」はもろに蛇です。

さて、最後に「ほんとう?」と思われる結核との符号の一致です。薬が開発される前は「大気・栄養・安静」が結核への対処でした。実はこの3つに「きよせ」が埋め込められています。「たいき・えいよう・あんせい」、3つ目に清瀬が浮き上がります。不思議ですね。ここまで符号が合うとこじつけとは言えません。結びのついでにもう1つ、複十字のマーク、ちょっと横に傾ければ「キ」です。そして、清瀬の市章のデザインは◎です。

以上、これほどのシンクロニシティがそろえば、間違いなく清瀬は本物ホスピタルです。だから、「手をつなぎ　こころをつむぐ　みどりの清瀬」の尊さを世界にお伝えしたいのです。

清瀬市長　渋谷金太郎

まちかどニュース

身近なイベントや、まちかどの話題を皆さんから募集しています。

市内初！　病院街でオオタカの雛（ひな）が巣立つ

オオタカは、環境省・東京都の絶滅危惧（きぐ）種に指定された希少生物です。子育てについては、警戒心が強く巣を放棄してしまい、市内では過去に例がありませんでした。今年病院街の緑地に営巣した個体は、7月初旬に2羽の雛が巣立ちました。

子育ての間、ストレスを与えないよう、清瀬の自然を守る会や愛好家の方が静かに見守り続けました。

ふかして間もないオオタカの雛と周囲を警戒する母鳥（写真撮影：清瀬の自然を守る会　佐々木義雄氏）

何という「きのこ」？

6月15日、せせらぎ公園の「ホタル鑑賞の夕べ」の会場付近で、大きなきのこが2本生えているのを発見。まるで夫婦のようにたたずんでいました。

このきのこの名前をご存じの方は、ご連絡ください。

問合せ　藤田☎090・1432・3078

せせらぎ公園に生えているきのこ（6月15日現在）

がんばりすと

「東京都中学校少林寺拳法大会」で優勝

6月15日、帝京中学校（板橋区稲荷台）で「第9回東京都中学校少林寺拳法大会」が開催されました。

男子の部では佐々木想人（五中三年）・森俊博（三中一年）組、女子の部では田中万琴（二中三年）・鈴木日菜（二中一年）組がともに優勝し、女子個人の部でも荒井美海香さん（二中二年）が第2位で、出場者全員が全国中学生大会に東京都中学校代表として出場します。

大会は、8月16日(土)・17日(日)に、香川県善通寺市で開催されます。

大会に出場した皆さん

「子ども・子育て支援新制度」に係る基準についての意見募集

平成27年度に実施する予定である乳幼児や児童の教育・保育に関する新制度において、市が定めることとなっている各種基準についての意見を募集します。（子ども・子育て支援新制度に関する説明会のご案内を、今号6面に掲載しています）

対象　市内在住・在勤・在学の方または市内に事業所を有する法人その他の団体、この事案について直接的に利害関係が生じると認められる方

基準案の閲覧　7月16日(水)～

閲覧場所　各地域市民センター、中央・駅前図書館、生涯学習センター、男女共同参画センター、児童センター、市役所行政資料コーナー、コミュニティプラザひまわり、清瀬けやきホール、市ホームページ

申込み　7月16日から8月4日（消印有効）までに住所・氏名・電話番号・対象事案名を記入し、直接または郵送、ファクス、市ホームページ内にある専用フォームで子育て支援課保育・幼稚園係☎497・2086へ

「清瀬市まちを美しくする条例」の一部改正案に係る意見募集

清瀬駅と秋津駅の周辺で歩行者が多く受動喫煙などの恐れがある道路などを「特定地区」として定め、同地区を「終日全面禁煙」とする条例への意見を募集します。

対象　市内在住・在勤・在学の方または市内に事業所を有する法人その他の団体、この事案について直接的に利害関係が生じると認められる方

条例案の閲覧　7月16日(水)～

閲覧場所　各地域市民センター、中央・駅前図書館、生涯学習センター、男女共同参画センター、児童センター、市役所行政資料コーナー、コミュニティプラザひまわり、清瀬けやきホール、ごみ減量推進課、市ホームページ

申込み　7月16日から8月4日（消印有効）までに住所・氏名・電話番号・対象事案名を記入し、直接または郵送、ファクス、市ホームページ内にある専用フォームでごみ減量推進課☎493・3750へ

手作りのおもちゃを作ろう！

割りばしでガリガリとんぼを作ります。

対象　小学3～6年生の方。先着15人

日時　7月31日(木)午前10時～11時30分

場所　郷土博物館

講師　星野泰夫氏

持ち物　彫刻刀セットまたは小刀

申込み　7月15日から電話で郷土博物館☎493・8585へ

「第9回ころぽっくるバースデーフェスタ」を開催

リニューアルしたおばけやしきや、ゲームランド、ビンゴ大会、パンやクッキーのお店などの他、新しいイベントも準備中です。

日時　7月25日(金)午前10時～午後4時

場所　児童センター

※直接会場へ。工作コーナーで作った作品を持ち帰る袋などをご持参ください。

問合せ　児童センター☎495・7700

投稿募集中　あなたも市報に参加しませんか

①キラリ☆スポット②まちかどニュース③清瀬こども俳句

応募方法　7月22日（必着）までに、①・②は写真（データが望ましい）に説明を添えて、住所・氏名・電話番号を記入し、郵送・持参・メールで秘書広報課へ、③は小・中学生対象で、はがきに俳句・住所・氏名・年齢・学校名・学年・電話番号を記入し、郵送または直接〒204―0021元町1－2－11生涯学習スポーツ課へ

※掲載にあたり、表現などを変える場合があります。

問合せ　①・②＝秘書広報課広報広聴係☎497・1808、③＝生涯学習スポーツ課☎495・7001